

安全上のご注意（回線終端装置の取り扱いについて）

- 「安全上のご注意」は必ずお読みになり、正しくご利用下さい。
- ・異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
貸与機器に接続された機器から煙がでる、変な臭いがするなどした際は、接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、本機と接続されている機器のケーブルを外して下さい。
本機を落としたり、カバーを破損された場合も同じ手順で行って下さい。
そのまま使用されますと火災・感電の原因となります。
- ・内部に水などが入ったら電源プラグをコンセントから抜いてください。
万が一、内部に水や異物などが入った場合は、本機と電源コードを外し、電源プラグをコンセントから抜き本機と接続されている機器のケーブルを外して下さい。
そのまま使用されますと火災・感電の原因となります。
- ・雷が鳴り出したら、本体・ケーブル線や電源コードには触れないで下さい。感電の原因となります。
- ・風通しの悪いところに置かないで下さい。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となるばかりか、周囲の器物に変形、変色、故障等の重大な影響を与えることがあります。
以下のような設置方法は絶対にしないでください。
 - －押入れや通気の悪いラックの中に設置する。
 - －テーブルクロス、布団、タオル等の布製品をかける。
 - －じゅうたんや布団の上に置く。
 - －ビデオやオーディオ機器に直接重ねる。
 - －上に物をのせる。
- ・本機を使用していると上面・下面が熱く感じられますが、異常ではございません。
使用環境温度範囲は0°C～50°Cです。50°C以上の高温になる環境では使用しないで下さい。
- ・電源コードを傷つけないで下さい。
電源コード、およびACアダプタは本製品に付属の物をご使用ください。
電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。
またコードをねじったり、ひっぱったり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないで下さい。
万一コードが傷んだら交換依頼をして下さい。
そのまま使用すると破損し、火災・感電の原因となります。
- ・異物を入れないで下さい。金属類や燃えやすい物を通気孔などから入れないで下さい。
万一、異物が入ってしまった場合は本機と電源コードを外し、電源プラグをコンセントから抜き本機と接続されている機器のケーブルを外して下さい。
そのまま使用しますと火災・感電の原因となります。
- ・カバーを開けないで下さい。
カバーを外したり、改造したりしないで下さい。
内部には電圧の高い部分もあり感電の原因となります。
- ・交流100V以外では使用しないで下さい。この機器を使用できるのは日本国内のみです。
クーラー用などの200Vコンセントには接続しないで下さい。

また、船舶などの直流(DC)電源にも接続出来ません。火災の原因となります。

- ・風呂、シャワー室では使用しないで下さい。火災、感電の原因となります。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。
- ・防水処理のない機器が水のかかる場所で使用しないで下さい。

この機器に水が入ったり、濡れたりしないようご注意ください。

火災、感電の原因となります。雨天・降雪中・海岸・水辺ではご使用にならないで下さい。

- ・本機の上に花瓶、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないで下さい。水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- ・付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。

他の電気製品ではご使用にはなれません。他の電化製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。

また電源コードは本製品に付属の物以外は使用しないで下さい。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能がでないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- ・不安定な所は避けて下さい。台の上など不安定な場所には置かないで下さい。また本機にのったりしないで下さい。落ちたり、倒れたりして危険です。怪我の原因となることがあります。
- ・濡れた手で本体および電源プラグを触らないで下さい。濡れた手で触ると感電の原因となることがあります。

- ・湿気、ほこりに注意して下さい。

調理台や加湿器のそばなどに油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かないで下さい。

火災、感電の原因となることがあります。電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んで下さい。差込が不完全ですと発熱や、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。

また電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- ・お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて下さい。定期的に電源プラグのほこりを取り除いて下さい。通電している電源プラグにほこりが積もると絶縁不良となり、火災原因になります。お手入れの際には電源プラグを抜き、乾いた布などで拭いて下さい。

- ・直射日光や暖房器具の熱気は避けて下さい。直射日光があたる場所や熱器具の近くに置くと火災・感電の原因となることがあります

- ・電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないで下さい。

加熱して火災の原因となることがあります。

- ・機器の上に乗らないで下さい。倒れたり、破損したりして怪我の原因となることがあります。

特に小さなお子様には十分注意して下さい。